## Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

世. 研究成果の刊行		1. m = 1 · c	\r		
著者	タイトル	雑誌名	巻号	ページ	出版年
松下修三、市川誠一、	座談会「治療が予防になる時代のコ	HIV 感染症と	5 巻	4-19	2014
生島嗣、木村哲、荒木順子	ミュニティセンター事業」	AIDS の治療 (別	2 号		
		₩)			
Yasuharu Hidaka,	Prevalence of Sexual	PLOS ONE	Vol. 9	E95675	2014
Don Operario,	Victimization and Correlates of		Issue 5		
Hiroyuki Tsuji,	Forced Sex in Japanese Men Who Have				
Mie Takenaka,	Sex with Men				
Hirokazu Kimura,					
Mitsuhiro Kamakura,					
Seiichi Ichikawa					
纐纈ゆき、金子典代、	若年女性における過去と現在の性感	日本ウーマン	Vol. 13	53-62	2014
市川誠一	   染症予防行動と情報入手状況の比較	ズヘルス学会			
		誌(別冊)			
Nigel Sheriff, Jane	Everywhere in Japan: an	Health	Doi:	1-13	2015
Koerner, Noriyo Kaneko,	international approach to working	Promotion	10. 1093		
Satoshi Shiono, Michiko	with commercial gay businesses in	International	/heapro		
Takaku, Ross Boseley,	HIV prevention		/day096		
and Seiichi Ichikawa					
Nigel Sheriff, Jane	日本における"Everywhere":	Health	Oneline	I .	2015
Koerner、金子典代、	ゲイ商業施設との協働による HIV 感	Promotion	Supplementaly		2010
塩野徳史、高久道子、Ross	染予防介入のための国際的アプロー	International	data		
Boseley、市川誠一	(未) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	International	uata		
岡慎一、市川誠一、	   座談会「HIV 検査と感染予防」	HIV 感染症と	6 巻	4-11	2015
松下修三		MIV 恐 架 症 こ AIDS の治療	2号	4-11	2015
	愛知県に在住するスペイン語圏の南	日本公衆衛生		CO.4	0015
高久道子、市川誠一、			62 (11)	684-	2015
金子典代	米地域出身者におけるスペイン語対	雑誌		693	
	応の医療機関に関する情報行動と関				
L. L. Laker*	連する要因		11(0)	222	2015
木村哲	HIV 感染症の最近の動向-世界と日	感染制御	11(3)	223-	2015
	本の疫学状況、抗 HIV 療法 (ART) の			229	
	進歩等一	B T 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	10	#0 0=	0010
木村哲	全国保健所等におけるHIV 抗体検査	日本エイズ学	18	79-85	2016
I. I. Lahren / Park	件数と新規HIV感染者報告数の関連	会誌			
木村哲(監訳)	成人および青少年 HIV-1 感染者にお	2016年7月14			
	ける抗レトロウイルス薬の使用に関	日版			
	するガイドライン	テクノミック			
		東京			
市川誠一、塩野徳史、	MSM における HIV 感染予防とコミュ	化学療法の領	32(5)	1029-	2016
金子典代、本間隆之、	ニティセンターの役割	域		1038	
岩橋恒太					
金子典代、塩野徳史、	成人男性の HIV 検査受検, 知識, HIV	日本エイズ学	19 (1)	16-23	2017
内海眞、山本政弘、健山正	関連情報入手状況,HIV 陽性者の身	会誌			
男、鬼塚哲郎、伊藤俊広、	近さの実態-2009 年調査と 2012 年				
市川誠一	調査の比較ー				
		·			